



美しい田園風景に囲まれて、夫婦で協力し 家業のイチゴ生産を受け継ぐ

イチゴ経営 城島町 中村 敏康さん(38歳) 由美さん(38歳)

「あまおう」の収穫

福岡県を代表するブランド農産物のイチゴ「あまおう」。久留米市は県内有数の産地です。12月、夜が明ける前からイチゴの収穫は始まります。大事なイチゴが傷まないように、気温が低いうちに作業を終わらせなければなりません。時には深夜に始まり、最盛期の4月には夕方から翌朝まで収穫し続けることもあるそうです。しかし、「基本的には朝日を浴びて夕方までの作業。今の健康的な生活は幸せ」と、中村敏康さんは話します。

就農のきっかけ

敏康さんは以前、ボウリング場の店長をしていました。勤務時間や休日が不規則で心身ともに負担が大きかったのですが、最初のお子さんの誕生をきっかけに、由美さんの実家のイチゴ農家を継ぐ決心をしました。当初は慣れない作業に苦労もありましたが、由美さんのご両親や周囲の支援で、3年目からは完全に経営を任せられるようになったそうです。7年目を迎えた今では、品質の優れた「あまおう」を生産し、JAを通じて東京など全国各地に出荷しています。

夫婦で協力して

「後継者がおらず、やめていく農家もいるが、がんばって今の規模を維持し、いいものを作っていきたい。できれば他の作物にも挑戦したい。」と話す中村さん夫妻。納得できる品質と、イチゴが大好きなお子さん達の笑顔のために、いつも夫婦お二人で仲良く協力してがんばっています。

